

ゆめぐみ ～空間～

発達領域：空間の理解



〈いろいろな空間〉

お部屋にはトンネルや安心BOX、カラーボックスなどいくつかの**空間**があります。

トンネルくぐりでは、子ども同士同じ方向に進んだり反対側から進んですれ違ったりしている姿が見られました。基本的にはハイハイでくぐることが多いですが、トンネルの淵につかまり立ちをして歩行でくぐろうと挑戦する姿もあり、どんな体勢でトンネルをくぐり抜けることができるのか考えて体感しているのかなと思いました。

このように体を動かして遊ぶこともありますが、時には一休みをすることもあり、安心BOXやカラーボックスの狭くて居心地の良い空間に入ってまったりと一人の時間を過ごしている様子も見られました。



〈体をたくさん動かそう！〉

お部屋に巧技台を設置すると早速登り始める子どもたち！まずは傾斜になっている所を下からハイハイで登り、登り切った後に降りるときはハイハイやおしりやお腹で滑るように降りて楽しんでいました。一人で登ることもあれば、お友だちの後を追いかけて一緒に登り降りをして体をたくさん動かしていました。台の上に乗っている時は「ヤッホー」や「○○く～ん！○○ちゃ～ん！」と声を掛けて手を振ると笑顔で振り返してくれる姿も見せてくれました。

また、傾斜になっている間の隙間から顔を覗かせたりくぐって通ったりする姿も見られ、様々な遊び方があって面白いなと感じました。





〈風船マット〉

子どもが一人乗れるサイズの風船マットを作ってお部屋に置くと、上に乗ってみたい手で叩いて「シャカシャカ」と鳴る音を楽しんだりする姿が見られました。しばらく子どもたちが遊んでいる様子を見守っていると、お友だちが楽しそうに遊ぶ姿を眺めている子がいたので更に大きく、二人以上乗ることの出来る風船マットを用意するとみんなで囲んで微笑み合ったりお友だちと嬉しそうに登っている姿が見られました♪

風船マットに横になった際、保育者がユラユラと揺らしていると気持ちよかったのかそのまま眠ってしまう子もいました zZ



〈からだ〉

お部屋にはたくさんの鏡があります。子どもたちは遊びの中でふとした瞬間に鏡を見て自分と見つめあったり、鏡越しにお友だちや保育者を見たりして過ごしています。特に、ミラートンネルは様々な方向に自分やお友だちが映るので刺激があって子どもたちはいろいろな角度から自分の姿を見ています。鏡に映る自分と目が合うと”じー”と見つめて指を差したり、”ツン”と指先や手をくっつけ合ったりする一面も見られました。また鏡の他にも赤ちゃん人形があり、**目から鼻・口、足や頭など全身**に触れることで「〇〇ちゃんと一緒にだね～」と知ることが出来ました。



〈ホールでの様子〉

ホールでは手押し車を押して歩行をたくさんしました。「ポップポップ～」と音になる手押し車は人気があり、子どもたちも押すことを楽しんでいました。また、順番待ちをしているのか後ろからついていったり一緒に押したりする姿も見られ、広い空間での遊びを存分に楽しむことが出来たのではないかと思います！

